

視聴覚教育

NO. 332

発行日

19. 5. 18

発行

岡崎市AVL

編集

現職研修委員会

学習情報部

高度情報通信社会における生きる力

学習情報部部长 菅原秀美

平成十九年度が始まり、すでに一カ月半が過ぎました。各学校、園、社会教育団体においては、それぞれの目標のもとに、その達成に向けて着実に歩みを進めてみえることと思えます。

さて、今後五年間の国を挙げて取り組むべき新たなIT戦略として「IT新改革戦略」が決定されました。これは、「いつでも、どこでも、だれでも」ICTの恩恵が得られるユビキタス・コンピューティングな社会、つまり生活や社会の至る所にコンピュータが存在し、コンピュータ同士が自律的に連携して動作することにより人間の生活を強力にバックアップする情報環境をめざすものです。こうした社会では、使えるものと使えないものの格差（デジタルデバイト）が問題となってきました。

今の教育現場でも、格差社会が起す学力や意欲の二極化が問題とされ、全国学力調査によって新たな問題が明確となり、その克服のため

の実践が進んでいます。

このような情勢の中で、すべての子供たちが必要な情報を主体的に選択し、情報を新たに創造・発信する力を身につけていくことは、学校の緊急課題になっていきます。情報活用の実践力、情報の科学的な理解、モラルを含めて情報社会への参画的態度を、体験的な学習とともに子供たちがさまざまなメディアを活用する中で育てていくことが求められています。これこそが、今後の子供たちのまさに「生きる力」になっていくと考えます。そのためには、私たち教育者が、授業などを通してどう情報教育をコーディネートしていかかが、重要になっていきます。

なお、本年度は、愛知県学校視聴覚教育研究会を10月17日に藤川小学校で行います。ぜひ多くの先生方のご参加をお願いします。



視聴覚用語 「ブラズマディスプレイ」

2枚のガラス板の間に封入した高圧の希ガスに高い電圧をかけて発光させる表示装置で、液晶とともに薄型テレビの有力な方式。応答速度が速く、コントラストが高く、視野角が広い。大画面テレビに適した特徴を備えているが、重量が多いので、小型は液晶テレビが多い。

II 視聴覚教育あれこれ II 平成十九年度 学習情報部方針決定！

研究主題

高度情報通信社会に対応する学校での新しい視聴覚・情報教育のあり方を追究しよう

研究の重点

① 学習メディア・パソコンの効果的な活用法の研究

② 校内ネットワークの環境整備と活用法の研究

③ 新岡崎教育ネットワークの環境整備と活用法の研究

④ 市自作ビデオの活用の促進と学校独自の自作視聴覚教材の制作

⑤ 視聴覚教室やパソコン教室の総合的な管理・運営方法の工夫

⑥ 学校教育放送・教育チャンネルや校内放送の活用法の研究

⑦ 視聴覚ライブラリー教材・機材予約システムの効果的活用法の研究

主任会の活動

〔広報部会〕：授業実践や視聴覚関連の研究集積、研究誌や月報の発行、学習情報部のホームページ管理等

〔研修部会〕：各種研修会・講習会の計画・実施や各種視聴覚教材や教育メディアの研究、機器調査等

〔自作部会〕：自作教材ビデオ・自作マルチメディア教材の制作とその活用事例研究等

〔教科部会〕：「視聴覚教材・機器利用の手引き」発行、ソフトの利用促進と活用法の研究

平成十九年度組織 ■視聴覚ライブラリー

所長（教育長）

江村 力

副所長

岩月 時雄

職員

宮田 典彦

西尾 友希

服部 光晴
太田ますみ

■学習情報部組織

部長

菅原 秀美（河合中長）

山田 賛平（藤川小長）

木島 節男（宮崎小長）

担当指導主事

小川 規博

（教育委員会学校指導課）

指導員

名倉 嘉章（六北中）

世話係

内藤 法雄（北野小）

小田 哲也（竜南中）

各部世話係

〔広報〕

佐渡 英彰（竜海中）

村田 貴志（甲山中）

〔研修〕

箕 哲也（南中）

川本 祐二（美川中）

〔自作〕

坂田 健一（矢作中）

長谷川 威全（額田中）

〔教科〕

島田 繁直（六北小）

河合 泰宏（羽根小）

各種大会 ・研究会の案内

Ⅱレッツ・トライⅡ 《研究会》

・三教研自作教材研究会

・愛知県放送教育特別研究会

（東海北陸地方放送教育研究大会）

8月24日（金）ウイル愛知

・愛知県学校視聴覚教育研究会

10月17日（水）藤川小学校

・放送教育研究会全国大会および視聴覚教育総合全国大会（合同開催）

10月26日（金）・27日（土）

国立オリンピックピック記念青少年総合センター

この他、本年度も、多くの大会・研究会が予定されています。是非ご参加ください。

《研究論文》

・インターネット活用教育実践コンクール

・松下視聴覚教育研究賞

・松下視聴覚教育研究助成

・東書教育賞

・上月情報教育研究助成

県や市の教育論文をはじめ多くの応募機会があります。日頃の実践成果を是非まとめてみましょう。

《コンクール》

・ふるさと岡崎メディアコンクール

・NHK杯中学校放送コンテスト愛知県大会

・全国子供科学映像祭 など

児童生徒の作品コンクールも多数あります。参加してみませんか。

ライブラリーだより

新年度がスタートしました。ライブラリーでは、機器・教材の活用について、社会教育・学校教育関係者のサポートをしています。相談・利用をお願いいたします。

●教材などの配達・回収

16ミリ映画、ビデオ、DVD教材の利用を希望する小・中学校・園に配達・回収を行っています。毎週火曜日に配達、翌週の月曜日に回収に伺います。必ず電話（23・6789）で予約の上、お申し込みください。

また、「視聴覚機器・教材目録」、「視聴覚教材・機器利用の手引き」をご覧下さい。

●ビデオ教材のダビングサービス

ライブラリーでは、制作した自作ビデオ番組やビデオ映像ラッシュ、行事記録等のダビングを行っています。お手持ちのビデオテープの背に「番組名」と「学校名」を記入の上、送付してください。原則として、1番組1本のテープでお願いいたします。（テープの種類は問いません）

●「視聴覚教材・機器利用の手引き」第12集

視聴覚機器の利用の仕方や活用の実践事例、自作ビデオ教材の活用事例と制作の歩みなど、大変参考になります。市内全教職員に配布しました。ご活用ください。

